

第55回全国母子生活支援施設研究大会 開催要綱

大会テーマ

子どもの育ちを保障する家族支援をめざして ～貧困・虐待の世代間継承を防ぐために～

1 趣 旨

児童相談所への児童虐待相談件数は約6万件、DV被害も2万件を超えて増加傾向は続き、家族をめぐる深刻な状況が社会問題化しています。

この背景には経済の低迷などによる貧困や格差のひろがり、子育て家庭の不安・孤立などの問題があり、これは国が公表した相対的貧困率でも裏づけられました。とくにひとり親家庭の相対的貧困率の50.8%という現実、あらためて社会全体で子どもと子育てを支援していく社会システムの構築が必要であることを痛感させます。

このほどとりまとめられた『社会的養護の課題と将来像』（社会保障審議会児童部会）であらためて母子生活支援施設の役割と機能が明確にされました。すべての施設が、ここで示された機能を備え発揮して、総合的な自立支援とアフターケアをはかり、貧困や虐待等の養育をめぐる問題の世代間継承を防ぐ取り組みをすすめなければなりません。

本研究大会は、母子生活支援施設に求められているこうした役割に対応できる機能の強化・拡充のあり方などを研究協議し、一層の母と子の支援の充実、職員の資質向上をはかり、今後の母子生活支援施設の方向を明らかにすることをめざして開催します。

2 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会
社会福祉法人 北海道社会福祉協議会・北海道母子生活支援施設協議会

3 後 援（予定）

厚生労働省、北海道
全国母子寡婦福祉団体協議会、全国母子自立支援員連絡協議会

4 期 日

平成23年10月6日（木）～7日（金）

5 会 場

「札幌プリンスホテル 国際館パミール」（本会場）
〒060-8615 北海道札幌市中央区南3条西12丁目
TEL：011-241-1111（代表）

【アクセス】《地下鉄》札幌市営地下鉄東西線 西11丁目駅から徒歩2分。

《タクシー》札幌駅からタクシーで平常時8分。

《航空機の場合》JR新千歳空港駅から快速エアポートで札幌駅まで36分。

6 参加対象（定員 250名）

- (1) 母子生活支援施設の役職員（法人の役員および施設長、職員）
- (2) 都道府県・指定都市・中核市・市区町村行政の母子・児童福祉関係者
- (3) 社会福祉協議会の母子・児童福祉関係者
- (4) 母子寡婦福祉団体関係者、民生委員児童委員、母子自立支援員 等

7 参加費 17,000円

8 交流会費 8,000円（宿泊・昼食代等は別途ご案内を参照してください。）

9 日程

	9:00		12:00	13:00	13:30		15:30	17:30	18:30	20:30
6日 (木)		受付	開会式	行政説明	基調報告	休憩	シンポジウム	移動	交流会	
7日 (金)	3分科会での自由研究発表	昼食休憩	資生堂海外研修報告会	記念講演	閉会式					
	9:00	12:00	12:50	13:30	15:00	15:10				

【第1日・10月6日(木)】

13:00～13:30 開会式・永年勤続表彰

13:30～14:30 行政説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課

14:30～15:15 基調報告 全国母子生活支援施設協議会 会長

15:15～15:30 休憩

15:30～17:30 シンポジウム

「子どもの育ちを保障する家族支援を考える」

- ◆コーディネーター 菅田 賢治（全母協副会長/仙台市社会事業協会事務局長）
- ◆コメンテーター 山崎 美貴子 氏（神奈川県立保健福祉大学顧問）
- ◆シンポジスト 渡井 さゆり 氏（NPO法人日向ぼっこ理事長）
 渋谷 行成 氏（新宿区立かしわヴィレッジ施設長）

貧困や虐待などの世代間継承を防ぐためには、子どもを受けとめ、おとなへの信頼感や自己肯定感の回復の支援とあわせ、育ちや学習を支援し、子どもが自らの将来イメージを形成し、それに向けた努力を支える必要があります。子どもの育ちを支える母子生活支援施設の役割を考えます。

17:30～18:20 チェックイン・会場移動

18:30～20:30 交流会（希望者のみ）会場：札幌ビール園

【第2日・10月7日（金）】

09:00～12:00 テーマ別分科会での自由研究発表

テーマ別の3つの分科会で、全国の母子生活支援施設から募集した自由研究を各3本程度発表し、フロアとの意見交換や助言者からのコメントをいただきます。

参加者は、分科会を自由に移動し、関心のある発表をきくことができます。

第1分科会 制度施策・支援システムの構築

助言者 家村 昭矩 氏（名寄市立大学短期大学部 児童学科 教授）

芹澤 出（全母協制度施策委員長/京都府・野菊荘）

母と子の安心安全・安定な生活の確保と自立支援に向けて、充実が急がれる制度・支援システム、支援ネットワーク、地域支援の課題などについて。

第2分科会 重い課題のある母と子への支援

助言者 横山 登志子 氏（札幌学院大学 人文学部 教授）

青戸 和喜（全母協研修広報委員長/愛知県・岡崎市 いちょうの家）

DV被害や児童虐待を受けた母と子、障害のある母と子など、重い課題のある利用者への支援をめぐって、日常生活場面での支援や権利擁護、母と子の関係調整、医療機関等他機関との連携などについて。

第3分科会 自由テーマ

助言者 栗山 隆 氏（北星学園大学 社会福祉学部 教授）

森脇 晋（全母協総務委員長/神奈川県・白百合パークハイム）

発表テーマは自由です。第1・2分科会と重ならないテーマ設定、たとえば倫理綱領の普及・実践化や職場のバーンアウト防止の取り組み、職場研修システムの開発、災害対応などについて。

12:00～12:50 昼食休憩

12:50～13:20 第36回（平成22年度）資生堂児童福祉海外研修報告会

13:30～15:00 記念講演「子ども虐待問題の基底としての貧困と社会的支援のあり方」

◆講師 松本 伊智朗 氏（北海道大学 教育学研究院 教授）

子ども虐待問題は、家族における生活の不安定と貧困、養育者の心身の疾病や障害、社会的孤立と排除、社会資源や公的支援へのアクセスの困難などが複合的に連鎖するなかで生起し、深刻化するといわれています。

子ども虐待問題への対応は、こうした複合的な困難の構造を明らかにし、不利と困難の連鎖をどのように食いとめるかを検討する必要があります。

記念講演では、子ども虐待問題への視点と、対応をはかるための実践のあり方を考えます。

15:00～15:10 閉会式

10 参加申込みおよび宿泊・交流会申込みについて

- (1) 参加申込みおよび宿泊・交流会の申込みは、別添の申込書に必要事項を記入のうえ、トップツアー株式会社 札幌支店まで、郵送またはFAXでお申し込みください。お申し込みは9月16日(金)必着でお願いします(なお締め切り前でも、定員に達し次第締め切らせていただきます)。
- (2) 大会参加申込者には、参加申込受付後9月下旬をめどに、大会参加券・交流会参加券・昼食券をお送りします。大会当日に必ずお持ちください。あわせて会場への案内図も添付します。
- (3) 参加費用入金後のキャンセルについては、原則として参加費の返金はいたしません。大会資料の送付で代えさせていただきます。
宿泊・交流会・昼食のキャンセルにつきましては、参加案内に記載の取消料をいただきます。あらかじめご了承ください。

11 個人情報の取り扱いについて

- (1) 個人情報の利用について
参加申込書に記載された個人情報については、申込受付等委託事業者(トップツアー株式会社 札幌支店)と事務局(全社協児童福祉部)において共同利用します。同情報は、参加申込受付・参加管理・参加にあたり希望される宿泊等サービス提供等、研究大会運営に必要な範囲内で使用します。
- (2) 参加者名簿の作成について
研究大会参加者どうしの交流を図るため、参加申込書に記載された情報をもとに、参加者名簿(都道府県名・所属施設名・参加者氏名・役職名)を作成し、参加者に配布します。

12 お問い合わせ先

【参加・宿泊・交流会・昼食の申込およびお問い合わせ先】

トップツアー株式会社 札幌支店(担当:柴田・鈴木・工藤)

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目3番地 パークイースト札幌7階

TEL: 011-221-0821 FAX: 011-222-4357

【大会の内容・運営に関するお問い合わせ先】

全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会事務局(担当:宮崎)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

E-Mail: boshi@shakyo.or.jp

自由研究発表募集要項

全国母子生活支援施設研究大会は、全国の母子生活支援施設役職員が集い、多様で困難な課題のある母子家庭の状況や母子生活支援施設の援助・支援のあり方などについて研究協議を行い、一層の利用者サービスの向上、職員の資質向上に資することをめざして毎年開催されています。

今回は、一昨年に引き続き2日目に「自由研究発表」を設定しました。

これは、各地で取り組まれている研究・実践を持ち寄り、テーマごとに発表とそれに基づく意見交換、さらに助言者からのコメントを行い、参加される皆さまとともに共有し、今後の研究・実践に生かしていこうとするものです（いわゆる「学会方式」）。

分科会間の移動は自由ですので、参加者にとっては、関心のある研究発表を選んでいくことが可能です。

ぜひ日頃の研究・実践の成果をたくさん持ち寄っていただき、実りある場としたいと願っていますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

1 各分科会のテーマと助言者

第1分科会 「制度施策・支援システムの構築」

助言者：家村 昭矩 氏（名寄市立大学短期大学部 児童学科 教授）

芹澤 出（全母協制度施策委員長/京都府・野菊荘）

母と子の安心安全な生活の確保と自立支援に向けて、充実が急がれる制度・支援システム、支援ネットワーク等について。たとえば、ハローワーク等と連携した効果的な就労支援、退所者と社会資源のネットワークづくりの取り組み、地域のひとり親家庭・子育て家庭の支援のシステム化など。

第2分科会 「重い課題のある母と子への支援」

助言者：横山 登志子 氏（札幌学院大学 人文学部 教授）

青戸 和喜（全母協研修広報委員長/愛知県・岡崎市 いちょうの家）

DV被害や児童虐待を受けた母と子、障害のある母と子など、重い課題のある利用者への支援をめぐって、日常生活場面での支援や権利擁護、母と子の関係調整、医療機関等他機関との連携などについて。たとえば、心理職と地域の医療機関の連携のあり方の追求や、危機管理・危機介入手法についての研究など。

第3分科会 「自由テーマ」

助言者：栗山 隆 氏（北星学園大学 社会福祉学部 教授）

森脇 晋（全母協総務委員長/神奈川県・白百合パークハイム）

発表テーマは自由です。第1・2分科会と重ならないテーマ設定、たとえば倫理綱領の普及・実践化や職場のバーンアウト防止の取り組み、職場研修システムの開発などについて。今回は、東日本大震災を受けて、災害への対応や事業継続計画の取り組みなどもテーマとなります。

2 自由研究発表の日時（大会2日目）

平成23年10月7日（金） 9：00～12：00

3 自由研究発表の時間配分（各分科会共通）

- 9：00～ 9：10 オリエンテーション、座長、助言者、記録者の紹介等
- 9：10～10：00 研究発表①（発表30分、質疑応答・意見交換10分、助言10分）
- 10：00～10：10 休憩・準備
- 10：10～11：00 研究発表②（発表30分、質疑応答・意見交換10分、助言10分）
- 11：00～11：10 休憩・準備
- 11：10～12：00 研究発表③（発表30分、質疑応答・意見交換10分、助言10分）

4 応募方法

発表を希望される方は、応募用紙に必要事項を記入のうえ、全国母子生活支援施設協議会事務局宛、8月26日（金）までに、FAX送信してください。締切後1週間以内に決定についてご連絡さしあげます。応募が多数の場合は、時間の制約上、選考させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、発表を希望される方は、大会参加申込書により参加申し込みをしてください。

5 自由研究発表の資料の提出等

（1）発表要旨について

研究大会の本資料に「発表要旨」を掲載します。A4判5枚以内にまとめ、全国母子生活支援施設協議会事務局宛、9月9日（金）までにメールのファイル添付で送信してください。本資料は大会の基本資料ですので、記載内容についてはプライバシー上の配慮等、十分ご留意くださるようお願いいたします。

（2）当日配付資料について

発表当日に会場で補足資料を配付できます。配付される場合は、80部を用意され、持参してください。当日パワーポイントを使用される場合は、スライドを印刷したものを必ず配付してください。

（3）パワーポイント等の使用について

発表会場には、プロジェクター、スクリーン、パソコンを設置しますので、パワーポイント等を用いて発表することができます。使用の場合は、応募用紙にその旨記載するとともに、全国母子生活支援施設協議会事務局宛、9月16日（金）までにデータをメールのファイル添付またはCD-ROMで送付してください。動作について事前に確認いたします。

6 事前打ち合わせについて

自由研究発表の各分科会の座長、助言者、記録者、発表者による事前打ち合わせを、当日8時から会場で行いますので、ご予約ください。

7 自由研究発表に関するお問い合わせ

全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会事務局（担当：宮崎）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

E-Mail：boshi@shakyo.or.jp

※ 応募用紙をデータで送信希望される場合は、E-Mailでご連絡ください。

第55回 全国母子生活支援施設研究大会
自由研究発表 応募用紙

1 発表者の氏名、連絡先等

発表者氏名		職 名	
所属施設名		都道府県名	
TEL		FAX	
Eメール			
携帯電話番号	(さしつかえなければお書きください。緊急時にのみ使わせていただきます。)		

2 発表を希望する分科会 (○をつけてください。)

・第1分科会	・第2分科会	・第3分科会
--------	--------	--------

3 研究について (概要を簡条書き等で簡略に記入してください。)

標題・テーマ	
研究や実践の 目的・動機	
研究や実践の 方法・内容	
研究や実践によ り得られた成果	
今後の課題等	

4 発表について

使用する機材等 (○をつける)	・プロジェクター ・スクリーン ・パソコン (パワーポイント)
持参する機材	・パソコン ・その他 (具体的に：)
通信欄	(事務局へのご要望等、連絡事項がありましたらご記入ください。)

FAX送信先 03-3581-6509 (全国社会福祉協議会 児童福祉部 宮崎宛)

第55回 全国母子生活支援施設研究大会 参加・交流会・昼食・宿泊のご案内

- 1 大会日程 平成23年10月6日(木)～7日(金)
 2 参加費 17,000円
 3 ご宿泊 1名様からお受けいたします。(最少催行人員1名様/募集型企画旅行)
 表示の代金は**朝食付、お1人様1泊**あたりの金額です(税金・サービス料を含みます)。

ﾀｲﾌﾟ	宿泊施設名	部屋	宿泊料金	交通等
1	札幌プリンスホテル(大会会場)	シングル	10,000円	札幌駅より車で8分
2	札幌プリンスホテル(大会会場)	ツイン	9,000円	
3	ベストウエスタンホテル札幌中島公園 (大会会場より徒歩10分)	シングル	8,000円	札幌駅より車で10分
4	ホテルルートイン札幌北口 (大会会場より徒歩15分)	シングル	6,000円	札幌駅より徒歩で1分

※ 部屋数に限りがございますので先着順とさせていただきます。また、お申込状況により上記以外のホテルをご案内させていただく場合もございます。あらかじめご了承ください。

※ ご宿泊手配は、トップツアー(株)札幌支店が企画・実施する募集型企画旅行となります。

- 4 交流会について
 会場:「札幌ビール園」(札幌市東区北7条東9丁目2-10/会場より送迎バスで約15分)
 10月6日(木)(大会1日目) お1人様 8,000円(税込) ※交流会費には、札幌ビール園までの送迎費用(往復)を含みます。

- 5 昼食弁当について
 10月7日(金)(大会2日目) お1人様 1,500円(税込)

- 6 お申込方法
- ① 申込書に必要事項をご記入のうえFAXにてトップツアー(株)札幌支店までお申し込みください。
 - ② 参加のみのお申し込みの場合(宿泊、交流会、昼食のお申し込みをされない)でも、申込書に必要事項をご記入のうえお申し込みください。
 - ③ 当日は会議がスムーズに運営されますよう、会場内で食事ができる弁当をお薦め致します。
 - ④ 申込締切後9月下旬に参加券類及び振込依頼書を郵送させていただきますので、到着後振込依頼書記載の弊社口座に費用全額をお振り込みください。

- 7 申込締切日 平成23年9月16日(金) 必着

- 8 お申込後の取消について
 変更・取消が発生した場合は必ず書面(FAX等)にてトップツアー(株)札幌支店にご連絡ください。
 宿泊、交流会、昼食の取消については下記の料率で取消料が発生します。あらかじめご了承ください。

旅行開始の前日から起算して	20日前～8日前まで	7日前～2日前まで	前日	当日	無連絡取消
宿泊	20%	30%	40%	50%	100%
交流会	無料	20%	50%	100%	
昼食	無料		50%	100%	

※大会参加費・交流会費は、大会事務局の依頼に基づきトップツアー(株)札幌支店が代行収受するものです。

【お申し込み・お問合せ先】

◎旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第38号

トップツアー株式会社 札幌支店

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目3番地 パークイースト札幌7階

TEL: 011-221-0821 FAX: 011-222-4357

受付時間 平日9:20～18:00 (土日祝日は休業とさせていただきます)

総合旅行業務取扱管理者 中田 修樹 (担当: 柴田・鈴木・工藤)

 旅行業公正取引協議会 会員
  一般社団法人 日本旅行業協会
  本邦保証会員



承認番号 北1553

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にお尋ね下さい。

第55回 全国母子生活支援施設研究大会

参加・交流会・昼食・宿泊申込書

【大会参加申込】

申込日: 月 日

※ 旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等への個人情報の提供について同意のうえ、本旅行に申し込みます。

都道府県		フリガナ		(母子生活支援施設での) 経験年数 _____ 年
		参加者氏名		
所属施設名			役職名	
施設所在地	郵便番号 _____ ※郵便番号・所在地は省略なしに記入してください。			
(参加券等の送付先となります。)	所在地 _____			
	TEL: _____		FAX: _____	
参加費	大会参加費 17,000円			

【交流会申込】

10/6 (大会1日目)	交流会参加費8,000円	申込	する ・ しない
--------------	--------------	----	----------

【昼食 (弁当) 申込】

10/7 (大会2日目)	弁当代 1,500円	申込	する ・ しない
--------------	----------------	----	----------

【宿泊申込】 希望するタイプの番号に○印をつけてください

※表示の宿泊代金は朝食付、税金・サービス料込のお1人様1泊あたりの金額です。ツインを希望される場合は、同室される方のお名前を連絡欄にお書きください。その場合も全員が各々お申込みをお願いします。

タイプ1	札幌プリンスホテル (シングル)	10,000円	宿泊希望日・泊数 10月 日より 泊
タイプ2	札幌プリンスホテル (ツイン)	9,000円	
タイプ3	バストウエスタンホテル札幌中島公園 (シングル)	8,000円	
タイプ4	ホテルルートイン札幌北口 (シングル)	6,000円	

【費用計算欄】

参加費	+	交流会	+	昼食	+	宿泊	=	費用合計
17,000円		円		円		円× 泊		円

- ◎ 費用のお支払いは申込締切日以降、9月下旬に参加券等と一緒に振込依頼書を送付しますので到着後、振込依頼書記載の口座に送金してください。
- ◎ 大会参加費・交流会費は、大会事務局の依頼に基づきトップツアー(株)札幌支店が代行収受するものです。

【連絡欄】